

レポート

我々の

税金を無駄にさせない!

一円たりとも

河野としのり県議 予算委員会で
県執行部に厳しく問い合わせ正す!!

量的緩和解除がなされ金利がじわじわと上昇すると、膨大な借金を抱え、

また、売れていない広大な土地を持つ千葉県や他の地方自治体には厳しいものとなっていく。

最近では、土地値が上昇に転じ、国全体がまたバブル期の雰囲気を持ってきたという記事が新聞に載りはじめている。特に、外資系の不動産ファンの外資マネーの動きが、都心や駅前そして人気リゾートの需要の高い土地の土地価格に強い影響を持ち、今は高値を創出しているが、もし外資マネーが一定の運用成果の区切りをつけ引き始めると売れない土地値はさらに下がって行く懸念もある。バブルの再来である。

県のこれまでの需要の見込めない土地、または開発区域をどうするのか、今こそ真剣に考えていかねばならない時期である。（平成18年予算委員会にて）

千葉県議会議員

こうのとしのり
河野俊紀

売れない土地、需要のない開発、 いつまでも県税を飲み込む事業を、 これ以上放置して良いのか！

河野としのり県議

県の予算の一般会計からいつまでも流し続ける価値と見通しが十分にあるのか。どこまでも様子を見続け、場合によっては破産するまで放置せざるを得ないものなのか。それとも、状況の変化を厳しく受けとめ事業を後退するべきと認め、損害の拡大を防ぐ方策に転換するのか。今、方向性、整理整頓を決めていかねば取り返しが付かなくなるのではないか。

具体的に言いましょう。一般会計から7億6,000万円も支出している金田西土地区画整理事業がありますが、この事業はどのような予測に基づき今後もなされていくのか。

まちづくり担当部長

金田西地区につきましては、抜本的な事業の見直しを進めます。

河野としのり県議

金田西地区は採算が合うためには数倍の土地価格の上昇でなければいけないと言われているのに、平成10年の当初、都市計画決定がされたときより地価は3分の1に下落している。整備していくべき地価が今より本当に数量上昇するのか、どのような予測に基づきこの事業を続けるのか、定量的

な見解をきちんと県民に示すべきです。

次に、幕張メッセの日本コンベンションセンターには、12億円も公債費として一般会計から繰り出しているが、これは売り上げから充当できないものか、いつまでも繰り出し続けるのか、

商工労働部長

日本コンベンションセンターの国際展示場の関係は、平成17年度においては、収入から施設管理費などの運営経費を差し引くと4億6,000万円の黒字ですが、起債償還が25億8,000万円あり、一般会計繰出金で賄っています。建設当初から、それは見込んでおりました。

河野としのり県議

かずさアカデミアホールの事業は5億円支出しているが、この事業の収入はわずか5,000万円と聞く、この事業を継続するのか、また公的施設等用地確保事業として8億円を支出しているが、これはかずさアカデミアパークの土地賃貸5億円、代替地の先行取得の支払い3億円と聞くが、もし、企業立地が今のままなら、いつまでもこの金額は払い続けなくてはならないのか。

さらに、かずさDNA研究事業として、17億円もの予算が一般会計から支出している。研究所の企業の賛助会費など、収入は1億円と聞いています。財政縮小期、地方の財政危機時代にこ

裏面に続く →



河野としのり
Profile

昭和25年 1月22日生まれ
48年 早稲田大学理工学部卒
50年 早稲田大学大学院
修士課程修了
同年 東洋エンジニアリング株式会社入社
平成 6年 千葉政経塾 卒塾

(松下政経塾の地域政経塾)
7年 千葉県議会議員初当選
11年 千葉県議会議員二期当選
15年 千葉県議会議員三期当選
16年 千葉県監査委員
現在 総合企画・水道常任委員



税金を1円たりとも無駄にさせない !!